

きもの豆知識

木綿の産地について

かつては地域ごとに合った木綿の産地も今や数えるほどになってきました。今回は今でも存在する木綿の産地について見てみたいと思います。



弓浜紆

広瀬紆、倉吉紆と並ぶ三紆のひとつ。元は農家の女性が自家用に織っていたため身近なモチーフが多い。

広瀬紆

江戸時代後期に町医者の子から技術を伝え広めたのが始まり。大柄で素朴な絵紆が特徴。

出西織

出雲産の綿花を手紡ぎし、藍で染め手織りする。土地に根差した手仕事にこだわって50年以上。これぞ民芸の仕事。



備後紆

久留米、伊予と並んで日本3代紆の一つ。江戸末期に竹の皮で防染し紆糸で井桁柄を織ることに成功したのが始まり。

久留米紆

12歳の少女井上伝が考案。その後改良がくわえられ、日本を代表する紆に。

歌舞伎のススメ ～『演劇界』が休刊になりました～

当店でも、毎月購読していた現在唯一の歌舞伎雑誌『演劇界』が3月発売の4月号をもって休刊することになりました。出版界のデジタル化が進み、売り上げ部数の減少と新型コロナウイルスの影響で歌舞伎の公演休止が相次ぎ紙面づくりが困難になったことから休刊の決定になったそうです。演劇界は明治40年創刊の『演芸画報』を母体として100年以上の歴史を刻んできました。河内屋が創業明治43年ですので、3歳先輩になるわけですが、今回の休刊はとても残念で仕方ありません。大判の誌面に美しい写真、見やすいデザインで毎月竹次郎カフェでも読んでいただけるようおいてありましたので、見て頂いた方もあるかもしれませんが、時代の流れにコロナ禍による観劇の自粛がはくしゃをかけてしまいました。実を言いますと数年にわたり購読してきたため、バックナンバーがたまっていて、昔のモノを少し処分しようと思っていたのですが、貴重なものになってしまいますので、そのまま残しておこうと思います。コロナが広まって、観劇の環境も激変してきました。以前に何回もご紹介はしていますが、歌舞伎の観劇もオンラインで配信が多くなったり、色々と便利にもなってきました。オンライン配信などにより身近になった面もありますが、演劇界の休刊はポジティブなニュースはないので、とても残念です。とはいえ我々は時代の流れを受け入れ、できる環境の中で楽しんでいくしかありませんね。



あそびの玉手箱

2月に展示させて頂く布絵について少しご紹介させていただきます。この作品は白石芳(しらいしかおる)さんが生前作られた作品で、60歳過ぎてから古布に魅せられて作られた、庭の花や自然の草木を独自の感性で表現豊かに温かみのある布絵という作品に仕上げられています。絵画的でとても布で作ったものとは思えないほど写実性を感じることが出来ます。また白石さんは宮家にお仕えしてみえたそうで、宮家から頂いた貴重な御裂を使われたものもあるそうで、とても貴重な作品の数々を今回展示させて頂くこととなりました。



白石芳さん 布絵展
2月17日(木)～21日(月)
竹次郎カフェ開催中

～レンタルギャラリー～

趣きある和の空間に作品を展示してみませんか？

趣のある和の空間で、作品を飾ってみませんか？個人の作品から、趣味の教室(お花、写真、書道、絵画、手芸など)の作品展など、文化・芸術を育む場を提供したいという思いから、竹次郎カフェを開催の日程(毎月5日間)に限り、レンタルギャラリーとしてお使い頂きます。

レンタル期間：竹次郎カフェ開催日(毎月5日間)
料 金：1500円(5日間)

※カフェ開催日は事前にお問合せ下さい。

☎ 0563-35-0039 大橋まで

竹次郎～TAKEJIRO CAFE～ コラム



竹次郎カフェオープンから5年間使った暖簾がいよいよ疲れてきたので、1月から心機一転新しいものに変えました。5年も経ったんですね。早いものです。

着付教室 12回

1回1000円

かわちやの
ワンポイント着付教室
1,000円
半巾帯の結び方など
ピンポイントでお教えます。

かわちやの着付教室は、それぞれの目的やスケジュールに合わせたカリキュラムを組んでいきます。

お気軽にご相談ください。
お問い合わせは 大橋幸子まで
TEL 0563-35-0039

イベント案内

ギャラリーカフェ
竹次郎 TAKEJIRO CAFE
2月17日(木)～21日(月)

牛首紆の世界を開催します。